

ミニ・ディスクロージャー誌

平成22年9月中間期 営業のご報告

KIYO
FINANCIAL GROUP



紀陽銀行

株式会社紀陽ホールディングス

株式会社 紀陽銀行

目 次

- 1 ごあいさつ
- 2 第2次中期経営計画
「～More & Steady～ たゆまぬ前進」
- 3 決算ハイライト
- 8 トピックス
- 10 地域の皆さまとともに
- 16 地域・社会貢献活動への取り組み
- 18 財務諸表
- 20 ネットワーク
- 21 株式情報



株式会社 紀陽ホールディングス

設 立 日 平成18年2月1日
所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
資 本 金 583億50百万円
事 業 の 内 容 銀行等子会社の経営管理、
ならびにそれらに附帯する業務
上場証券取引所 東証・大証第一部

株式会社 紀陽銀行

設 立 日 明治28年5月2日
所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
資 本 金 800億96百万円
店 舗 数 109店（和歌山県70ヵ店、大阪府36ヵ店）
（奈良県2ヵ店、東京都1ヵ店）
従 業 員 数 2,300名（出向者を除く）

※平成22年9月30日現在

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

KIYO FINANCIAL GROUP

紀陽フィナンシャルグループ



※平成22年9月30日現在



取締役社長 片山博臣

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成22年9月中間期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績の概要や第2次中期経営計画の進捗状況、また、最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は、前半は海外経済の改善や各種の経済対策をはじめとする政策効果などを背景に生産や設備投資及び個人消費についても持ち直しの動きを見せ、自立的な回復へ向けた動きが見られました。しかしながら、後半には円高の進行などから景気の下ぶれ懸念が強まり、失業率も依然として高水準にあります。

当社の主要営業地域である和歌山県・大阪府においても企業の生産活動、景況感や個人消費の一部に回復基調が見られましたが、依然として先行きの不透明感は拭えておりません。

当社は、平成21年4月より第2次中期経営計画をスタートさせ、お客さまとの接点強化とお取引先数の増加による着実な量的拡大を図るとともに、営業基盤強化に基づく質的成長へと軸足を移し、収益力を一層強化することに取り組んでまいりました。平成22年9月中間期の業績につきましては、市場金利の低下から貸出金利息は減少しましたが、リスク管理の一層の強化、債券関係損益の改善等により、計画を上回る利益を確保することができました。

紀陽銀行では、お客さまの満足度を向上させるために本年5月に新しい基幹系システムへの移行を行い、また9月に大阪中央支店をより立地条件の優れた場所に移転し、11月には和歌山県南部の主要店舗である田辺支店を新築移転して店舗機能の強化充実を図ってまいりました。

これからもお客さまから選ばれ続ける銀行となるため、お客さまの満足度を第一に考え、お客さまの良き相談相手として知恵を絞り、汗をかき行動してまいりますので、皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年12月

第2次中期経営計画「～More & Steady～ たゆまめ前進」

平成21年4月より第2次中期経営計画「～More & Steady～ たゆまめ前進」をスタートしております。お客さまとの接点強化とお取引先数の増加による着実な成長を目指すとともに、営業基盤強化に基づく質的成長へ転換し、収益力を一層強化してまいります。

紀陽銀行の
目指す銀行像

「お客さまから選ばれ続ける銀行」

お客さまの満足を第一とする心を大切にし、お客さまの良き相談相手として知恵を絞り、汗をかき行動する銀行を目指します。

第2次中期経営計画「～More & Steady～ たゆまめ前進」

「営業基盤強化に基づく質的成長への転換」

顧客接点強化と取引先数増加
による着実な成長

経営管理態勢の強化

公的資金返済に向けた
態勢整備の完了

主要
戦略

地元エリアにおける競争優位の発揮

- 和歌山県内および堺・大阪府南部において経営資源を最大限に活用。
- お取引先数の増加を強く意識した営業推進を行う。

多様な顧客接点を生むための効率的な営業体制の構築

- お客さまの満足度を最大限に高めるための営業体制を実現。

安定成長を支える組織態勢の強化

- リスク管理態勢の強化とコンプライアンスの徹底を図る。

紀陽銀行単体

目標項目		平成21年9月期 実績	平成22年9月期 実績	前年同期比
規模	預金等残高(譲渡性預金含む)(末残)	3兆2,686億円	3兆3,418億円	732億円
	貸出金残高(末残)	2兆3,764億円	2兆4,598億円	834億円
	うちローン残高	8,333億円	8,676億円	343億円
	投資信託残高(末残)	1,384億円	1,422億円	38億円
収益性	コア業務純益	92億円	77億円	△15億円
	コア業務純益ROA(コア業務純益/総資産)	0.52%	0.41%	△0.11%
効率性	OHR(経費/業務粗利益)	63.38%	63.82%	0.44%
健全性	不良債権比率	3.71%	3.60%	△0.11%

第2次中期経営計画 平成24年3月期 (計画)

3兆4,500億円以上
2兆6,000億円以上
9,300億円以上
1,650億円以上
年間 240億円以上
0.66%以上
60%台前半
3%台

紀陽ホールディングス連結

目標項目		平成21年9月期 実績	平成22年9月期 実績	前年同期比
収益性	当期(中間)純利益	21億円	54億円	33億円
健全性	自己資本比率	11.08%	11.27%	0.19%
	TierI比率	8.28%	8.60%	0.32%

第2次中期経営計画 平成24年3月期 (計画)

年間 120億円以上
11%以上
8%以上

紀陽ホールディングス【連結】

経常利益は63億円、中間純利益は54億円となりました。

平成22年9月期の紀陽ホールディングス連結の業績は、グループの中心である紀陽銀行において、国債等債券売却益の確保を行い、また貸倒引当金戻入益が発生するなど与信コストが改善したことを主因に経常利益は63億円、中間純利益は前年同期比33億円増加の54億円となりました。

業績予想

中間期の業績については、当初予想を上回る純利益を計上できましたが、地元の景気動向等はまだまだ不透明であることから、平成23年3月期の通期連結業績予想については当初計画どおり、当期純利益63億円を見込んでおります。

紀陽銀行【単体】

	平成21年9月期	平成22年9月期	前年同期比
資金利益	255	254	△ 1
役務取引等利益	21	20	△ 1
その他業務利益	15	39	24
業務粗利益	292	314	22
経費(△)	185	200	15
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	—	△ 9
業務純益	97	113	16
コア業務純益	92	77	△ 15
臨時損益	△ 50	△ 46	4
うち不良債権処理額(△)	29	21	△ 8
経常利益	47	67	20
特別損益	6	29	23
うち償却債権取立益	6	6	0
うち貸倒引当金戻入益	—	33	33
中間純利益	29	64	35

単位:億円

用語解説

コア業務純益とは

預金、貸出金、有価証券などの利息収支である「資金利益」、投資信託販売手数料など各種手数料の収支である「役務取引等利益」、外国為替、債券の売買損益などの収支である「その他業務利益」を合計した「業務粗利益」から「経費」と「一般貸倒引当金繰入額」を差し引いたものが「業務純益」です。さらに、「業務純益」から一般貸倒引当金繰入額、債券関係損益の影響を控除したものが「コア業務純益」となります。銀行の本来業務での収益を表す指標です。

OHRとは

業務粗利益に占める経費の割合を表し、効率性を示す指標のひとつです。数値が低い方が、効率が良いとされています。

自己資本比率・TierI比率とは

自己資本比率は、信用リスクアセット(総資産のうち貸倒の可能性がある資産)やオペレーショナル・リスク相当額(事務ミスなどから生じる損失に対して備えるべき額など)に対する資本金などの自己資本の割合を示します。

TierIは、資本金や利益剰余金など自己資本の中核を占めるもので、リスクアセットに対する割合は、健全性を示す指標のひとつです。

業務粗利益とは

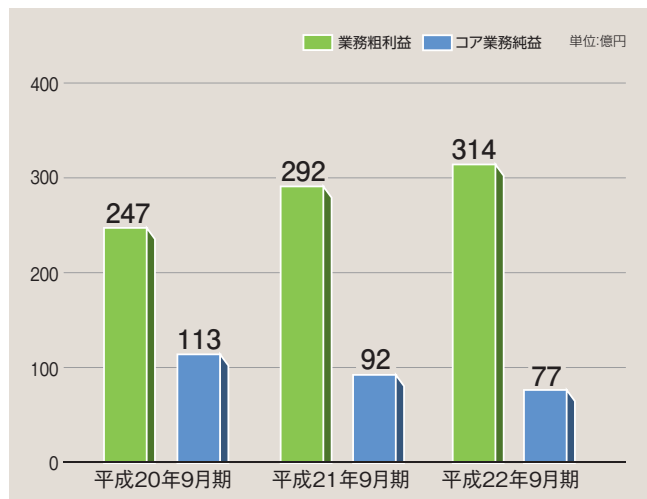
預金、貸出金、有価証券などの利息収支である「資金利益」、投資信託販売手数料など各種手数料の収支である「役務取引等利益」、外国為替、債券の売買損益などの収支である「その他業務利益」の合計です。

損益の状況

業務粗利益・コア業務純益

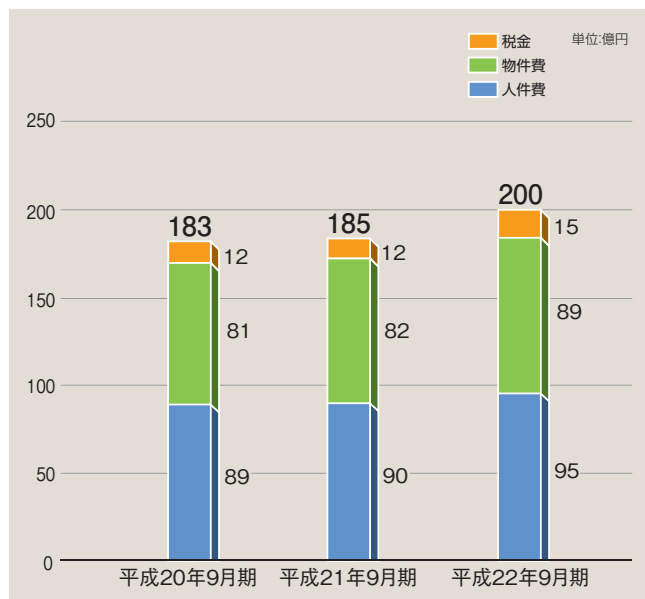
市場金利の低下に伴い、国債等債券売却益が増加したことにより、業務粗利益は前年同期比22億円増加し、314億円となりました。

また、コア業務純益は前年同期比15億円減少し、77億円となりました。



経費

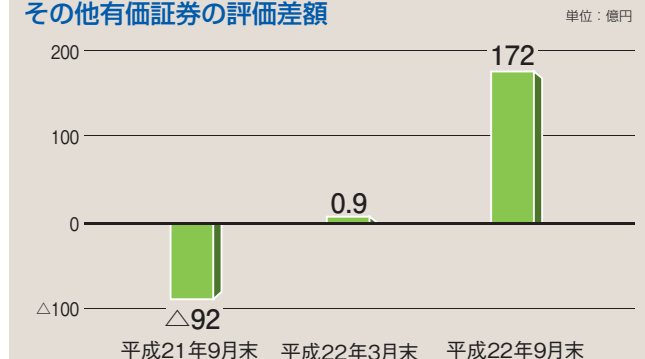
基幹系システム更改費用の償却負担や人件費の増加により、経費全体では前年同期比15億円の増加となりました。



有価証券の状況

株価が低迷する一方、債券価格が上昇したことなどから、その他有価証券評価差額は、前期末比で171億円の増加となりました。

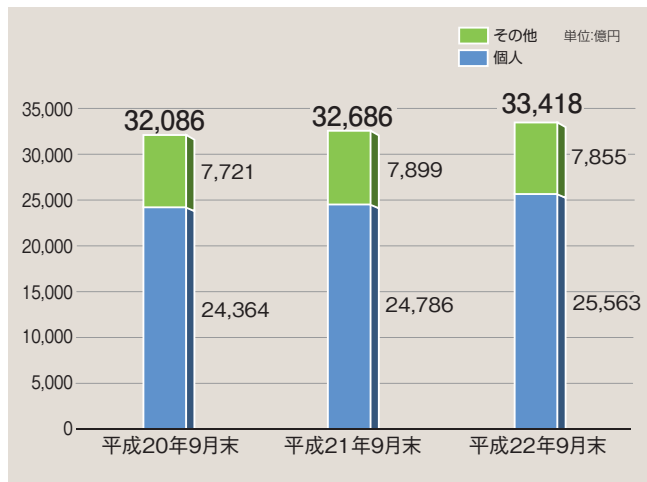
その他有価証券の評価差額



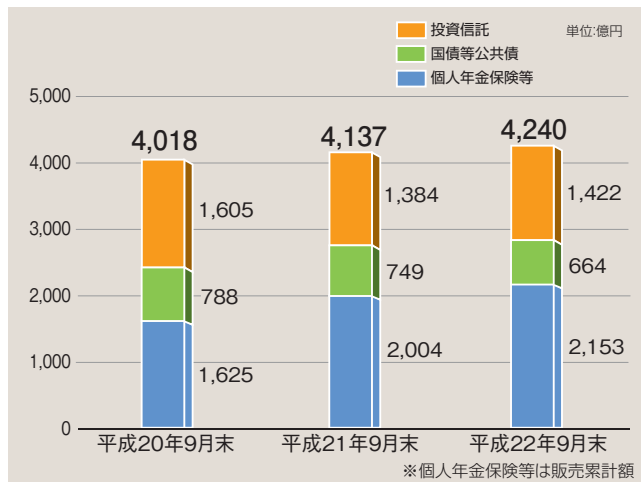
預金等および預かり資産の状況

預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比732億円増加の3兆3,418億円となりました。

預金等残高



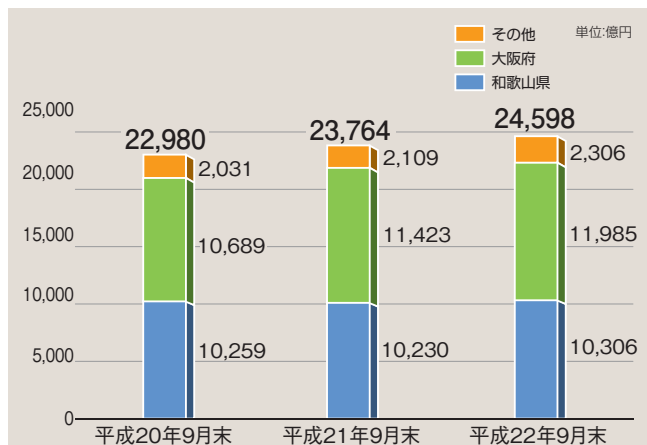
預かり資産残高



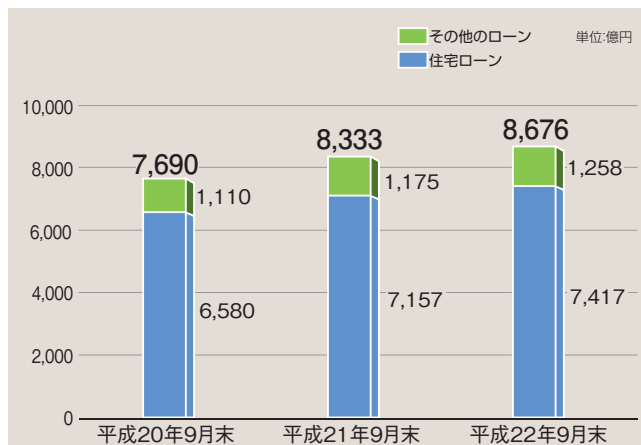
貸出金の状況

中小企業向け貸出や住宅ローン残高が順調に増加したことなどから、貸出金残高は前年同期末比834億円増加の2兆4,598億円となりました。

貸出金残高



ローン残高



自己資本比率

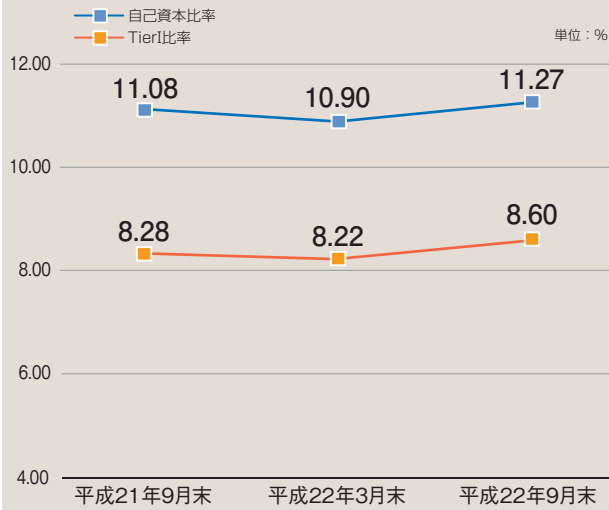
平成22年9月末の紀陽ホールディングス連結の自己資本額は、前期末比62億円増加し、2,025億円となりました。
また、子銀行の紀陽銀行では国債中心の有価証券投資などを行った結果、リスクアセットは前期末比47億円減少しました。
この結果、紀陽ホールディングス連結自己資本比率(第二基準)は、前期末比0.37%増加の11.27%となりました。
なお、紀陽銀行単体の自己資本比率(国内基準)も、前期末比0.34%増加の10.76%となりました。

※第二基準とは、海外営業拠点を持たない銀行持株会社の基準です。
国内基準とは、海外営業拠点を有しない銀行の基準です。

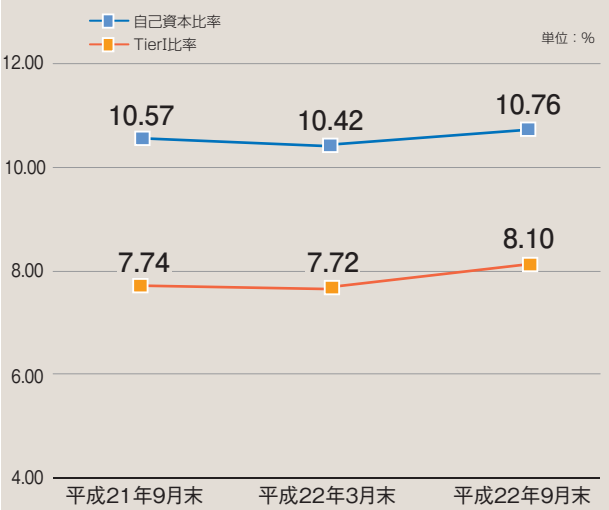
	自己資本比率	自己資本額			リスクアセット
			TierI	TierII	
紀陽ホールディングス 連結	11.27% (+0.37%)	2,025億円 (+62億円)	1,545億円 (+64億円)	480億円 (△2億円)	17,961億円 (△47億円)
紀陽銀行 単体	10.76% (+0.34%)	1,923億円 (+56億円)	1,448億円 (+65億円)	475億円 (△9億円)	17,861億円 (△47億円)

※()内は平成22年3月末対比

紀陽ホールディングス連結

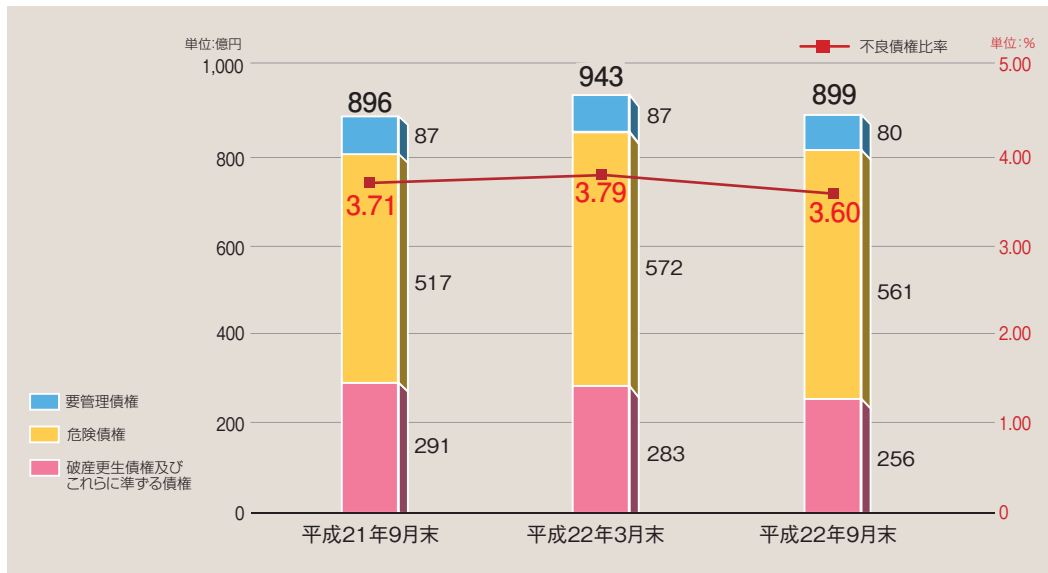


紀陽銀行単体



不良債権(金融再生法開示債権)

事業の再生支援、経営改善支援による債務者区分のランクアップなどにより不良債権額削減に努めた結果、平成22年9月末の不良債権比率は3.60%となりました。



不良債権の保全状況

平成22年9月末の不良債権総額899億円のうち88.0%は担保や引当金などで保全されております。

	債権額 ^(※1)	保全額			保全率
			担保・保証等	引当額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ^(※2)	256	256	242	14	100.0%
危険債権 ^(※3)	561	490	419	71	87.3%
要管理債権 ^(※4)	80	44	33	10	55.0%
合計	899	791	695	96	88.0%

(※1) 貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等の合計。なお、銀行保証付私募債については、「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

(※2) 破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

(※3) 債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

(※4) 3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

大阪中央支店、田辺支店を移転オープン

平成22年9月、お客さまとの接点強化のために、大阪中央支店をより利便性の高い大阪市内御堂筋沿いに移転しました。当店は中小企業取引の中核となる店舗として、法人新規開拓室・住宅ローンセンターを併設し、店舗機能をより一層強化しました。



大阪中央支店

平成22年11月には、和歌山県南部の主要店舗である田辺支店を新築移転オープンさせました。

新店舗ではお客さまの資産運用やご融資などのご相談をゆとりとお受けできるよう専用ブースを増やし、休日もご利用いただける全自動貸金庫を設置するなど店舗機能を充実させました。

また、ロビー内装に和歌山県産の桧を採用し、屋上に太陽光発電パネルを設置するなど省エネシステムを随所に取り入れ、「地域の町並みとの調和」と「環境への配慮」を図りました。



田辺支店

<キヨー>ふれあい倶楽部

昭和62年に発足し活動してまいりました、年金受給者向けサークル<キヨー>ふれあい倶楽部を平成22年1月に全面リニューアルいたしました。優待割引サービスの大幅な拡充、著名人・芸能人の講演会・セミナーやカルチャースクールの無料ご招待、名産品プレゼントなど、よりお楽しみいただけるようサービスの充実を図っております。入会のお申込みは不要で、紀陽銀行で年金自動受取をいただいた方が自動的に会員(会費無料)となります。(退会も自由にできます。)



♥優待割引サービス

和歌山県内全域、大阪府南部を中心とする加盟店(平成22年9月現在929ヵ店)で、会員証をご提示いただくと、優待割引サービスが受けられます。

♥講演会・セミナー

各地で、著名人・芸能人の講演会やセミナーに、抽選で無料ご招待いたします。

♥カルチャースクール

各地で、陶芸などの人気の高いカルチャースクールに、抽選で無料ご招待いたします。

♥名産品プレゼント

季節ごとのプレゼントや地方の名産品を抽選でプレゼントいたします。

♥バースデーカード

お誕生日には毎年バースデーカードをお送りします。



金融新商品・新サービスのラインナップ

■「年金相談会」を大阪府南部にも拡充

お客さまの年金に対する関心が高くなっていることから、和歌山県内において平成21年4月から開催しておりました「年金相談会」を平成22年4月より大阪府南部（堺・泉州地域）にも拡充し、地域の皆さまのニーズにお応えしております。



■相談会受付専用ダイヤル

電話番号 **0120-046389** 平日9:00～17:00 土・日曜11:00～17:00

（開催月により、開催場所・開催日時が異なります）

■紀陽ステップローン

紀陽銀行の住宅ローンをご利用いただいているお客さまを対象とした多目的ローンの取扱いを平成22年10月に開始しました。最高500万円までお申込み可能で、教育やリフォーム、マイカー購入など様々なニーズに対応できる利便性の高い多目的ローンです。

住宅ローンをご利用いただいていないお客さま向けにも各種ローンを取り扱っております。

■地域応援団＜パートナー＞

中小企業、個人事業主、農林水産業に従事されている方々を対象として平成22年7月から取扱いを開始しました。

お客さまから次年度の事業計画をヒアリングさせていただくことで、最高1,000万円まで無担保でお申込み可能な融資商品です。ヒアリングを通してお客さまの様々なニーズにお応えできるよう相談させていただいております。

■地元スポーツチーム応援定期預金

平成22年6月から8月まで、和歌山県を本拠地とする唯一のプロ野球チーム「紀州レンジャーズ」を応援する「地域密着型」の定期預金を取扱いしました。平成22年11月からは大阪府堺市を本拠地とするバレーボールVプレミアリーグに加盟する「堺ブレイザーズ」の応援定期預金の取扱いを大阪府内店舗にて開始し、地元スポーツチームを地域の皆さまとともにサポートしています。



■医療保険

医療制度の改定等により、医療費の自己負担額が年々増加傾向にあり、お客さまの医療保障ニーズは高まりつつあります。それにお応えするべく最新の医療事情に即した「医療保険」を平成22年9月から、紀陽銀行の一部の店舗にて取扱いを開始しました。

■ドクターズローン

病院・診療所を新規に開業される方や、既に病院・診療所を経営されておられる方が最長20年までご利用いただける融資商品「ドクターズローン」の取扱いを平成22年10月より開始しました。

万が一の場合に備えた地銀協団体信用生命保険を活用したプランもご用意しております。

■紀陽成長基盤支援ファンド

日本銀行が実施する「成長基盤強化を支援するための資金供給」に対応し、成長基盤強化に資する事業を行う事業者の方々に対して、金融面での積極的な支援を行うものとして、平成22年10月より取扱いを開始しており、地域経済の更なる活性化に取り組んでおります。

地域の皆さまとともに ～預金、貸出金の状況～

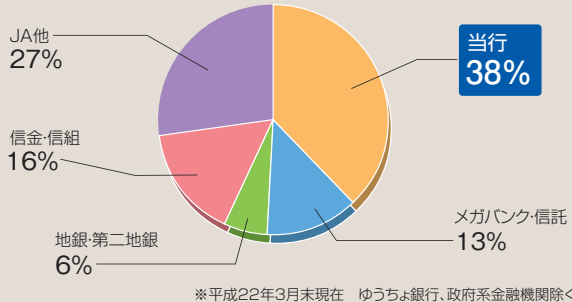
現在、和歌山県内に70店舗、大阪府内に36店舗（堺市以南は26店舗）を配置し、両府県を主要な営業基盤としております。また、両府県に隣接する奈良県に2店舗、東京に1店舗を出店し、お客さまの利便性向上に努めております。

さらに営業体制の効果的活用により、多くのお客さまによりきめ細やかな対応とサービスを提供し、地域の皆さまの貯蓄・資産運用に関するニーズにお応えするとともに、企業や個人事業主の皆さまの資金需要に対し、円滑に資金をご提供できるよう今後も努めてまいります。

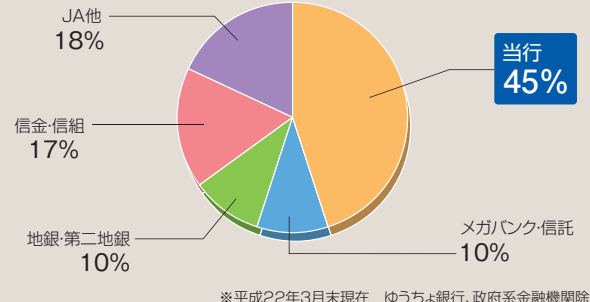
預金・貸出金の和歌山県内シェア

和歌山県では預金、貸出金ともにトップシェアを維持しており、これからも地域のリーディングバンクとして、地域の発展に向け、ますます重要な役割を果たせるよう努めてまいります。また、大阪府においても預金・貸出金とも順調に増加しており、より一層有力な地元銀行として認めていただけるよう営業体制の強化をすすめてまいります。

和歌山県内預金シェア



和歌山県内貸出金シェア

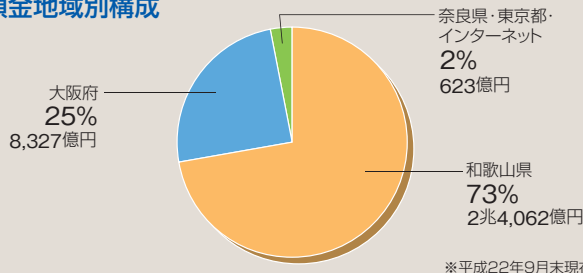


預金・貸出金の地域別構成

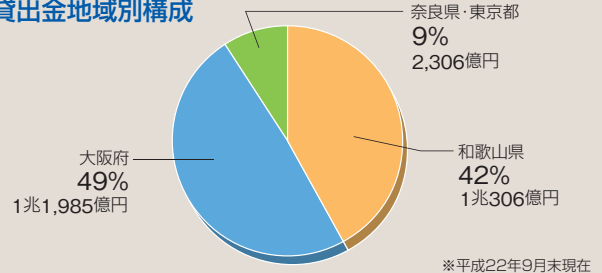
平成22年9月末の総預金残高（譲渡性預金を除く）3兆3,013億円のうち、98%の3兆2,389億円を和歌山県、大阪府の店舗にてお預かりしております。

貸出金につきましても、和歌山県、大阪府の店舗における貸出金残高は2兆2,292億円となっており、総貸出金残高の91%を占めております。

預金地域別構成



貸出金地域別構成



中小企業・個人のお客さまへの貸出の状況

お客さまの様々な経営課題や資金ニーズに取り組ませていただいた結果、中小企業等貸出金残高は引き続き増加いたしました。平成22年9月末の中小企業等貸出金残高は、前期末比415億円増加し、1兆9,107億円となり、貸出金2兆4,598億円の約78%を占めております。

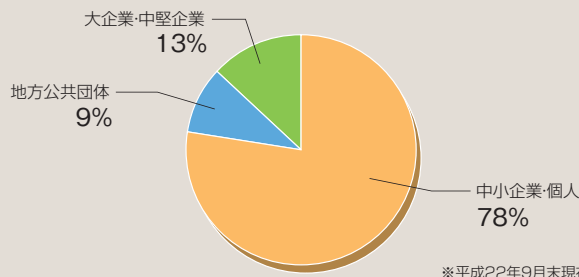
中小企業等貸出金残高の推移

単位:億円



※中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、サービス業、小売業および飲食店は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業およびサービス業は100人、小売業および飲食店は50人)以下の会社および個人への貸出金

中小企業・個人のお客さまへの融資の状況



※平成22年9月末現在

金融円滑化への取り組み状況について

貸付条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権の額及び件数

	債務者が中小企業者である場合		債務者が住宅資金借入者である場合	
	件数	金額	件数	金額
貸付条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権	4,858件	1,332億円	752件	118億円
うち、実行に係る貸付債権	4,129	1,139	493	75
うち、謝絶に係る貸付債権	103	34	34	6
うち、審査中の貸付債権	419	118	58	8
うち、取下げに係る貸付債権	207	39	167	27

(注)記載している計数は、平成21年12月4日以降平成22年9月末までの累計。

謝絶に係る貸付債権には、貸付条件の変更等のお申込みの日から3ヵ月を経過したことにより謝絶として計上しているものを含みます。

決済口座の状況

	和歌山 県内	大阪府 その他	合 計
給与お受取口座数	214,704	59,911	274,615
公共料金お支払い口座数	288,591	88,090	376,681
年金お受取件数	128,110	40,534	168,644

※平成22年9月末現在 個人のみ

全国銀行協会相談室

全国銀行協会相談室は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会は無料です。

詳しくは、全国銀行協会のホームページ(<http://www.zengi-nkyo.or.jp/adr/>)をご参照ください。

銀行とのトラブルがなかなか解決しないお客さまは「あっせん委員会」をご利用いただけます。

詳しくは、全国銀行協会相談室にお尋ねください。

●電話番号	0570-017109 または 03-5252-3772
受付時間	9:00～17:00 (銀行窓口休業日を除く)

※全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。11

地域の皆さまとともに ～個人のお客さまのために～

個人のお客さまのライフプラン、ライフステージに応じた幅広いニーズにお応えするために、様々な商品のご提供やサービスの充実に努めております。

インターネット支店

アドレス <http://www.kiyobank.co.jp/net/>



インターネット支店を紀陽銀行ホームページ上に開設しております。口座の開設は郵送によるお取扱いとなりますが、窓口足を運んでいただくことなく、パソコンを通じて定期預金のお申込みを年中無休で受け付けております。

インターネット支店専用定期預金をご用意し、当行の営業エリア内外からご預金をお預かりしております。また、セキュリティ面では、ワンタイムパスワード*を採用するなど、なりすまし防止対策を強化しております。

※お客さまの携帯画面上に表示された一度限りのパスワードを利用して、インターネットバンキングの本人認証を行います。万一パスワードが不正行為により盗まれたとしても、1分後にはそのパスワードは無効となることから「本人なりすまし」による不正取引など、金融犯罪への対策として、きわめて有効な手段となります。

■インターネット支店の概要

支店名	インターネット支店
ご利用いただける方	日本国内に居住する満20歳以上の個人のお客さま (但し、事業性個人や屋号付個人のお客さまはご利用いただけません)
営業日・営業時間	インターネットからのアクセスは原則365日、24時間可能です。
ご利用手段	ブラウザ搭載のパソコン。振込、残高・明細照会には携帯電話からも可能。
お申込み方法	口座開設は郵送にて行います。 定期預金へのお預け入れはパソコンを通じて行います。
キャッシュカード	ICキャッシュカードを発行いたします。(通帳は発行いたしません) 紀陽銀行のATMやローソン・セブン銀行・ゆうちょ銀行のATMまたは提携金融機関のATMにてご利用いただけます。
お取扱い商品	①インターネット支店専用定期預金 預入金額:10万円以上(1円単位) 期 間:1年、3年、5年 ②インターネット支店専用普通預金 公共料金や税金、クレジットカード等の決済機能はございません。 また給与や年金等のお受け取り口座にはご指定いただくことはできません。

モバイル・インターネットバンキング

残高照会やお振込などの銀行取引が、パソコン・携帯電話でご利用いただけるサービスです。

基本手数料は無料で、平日は8:00～23:00、休日は8:00～19:00の間、お取引が可能です。(サービスによってお取扱い時間が異なる場合がございます)

また、振込手数料が店頭受付の場合よりお得で、住宅ローンの一部繰上返済・固定金利選択手数料が無料となっており、個人のお客さま限定のサービスとなっております。

セキュリティ面では、インターネット支店と同様にワンタイムパスワードを採用するなど、対策を強化しております。

■サービス内容

パソコン・携帯電話とも可能なサービス	残高照会、入出金明細照会、振込・振替、税金・各種料金の払込み(ペイジー)
パソコンのみ可能なサービス	住所変更、公共料金自動引落登録、住宅ローン一部繰上返済・固定金利選択(一部、お取扱いできない住宅ローンがございます)

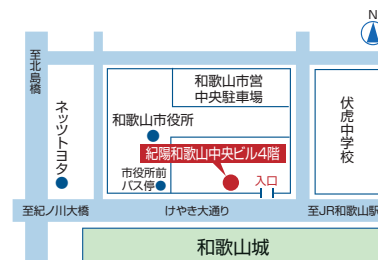
紀陽ハートフルプラザ

ご預金や資産運用のご相談に関する利便性の向上を目指し、個人のお客さま専用の店舗として設置しております。和歌山県内では、和歌山市内に2ヵ店と橋本市内に1ヵ店、大阪府内では堺市と泉大津市に各1ヵ店、合計5ヵ店出店しております。今後も、お客さまのニーズにお応えできるようサービスの拡充を図ってまいります。



家計に関するご相談にお応えする「紀陽 お城の前の相談室」

和歌山市役所東隣の紀陽和歌山中央ビル4階にある「紀陽 お城の前の相談室」は、家計に関することについてご相談いただけます。「資産運用はどうしたらいいの?」「年金はどうなるの?」「相続対策はどうしたらいいの?」など、日常の皆さまの疑問にお答えします。お仕事帰りや休日にごゆっくり相談いただけます。受付時間、休業日など詳細につきましては、紀陽銀行ホームページをご覧ください。ハローサービスセンターへお問い合わせください。



各種ローン及び住宅ローン休日相談窓口

お客さまのライフステージにおける様々なニーズにお応えするため、カードローン、マイカーローン、学資ローン、住宅ローンなど各種ローン商品をご用意しております。

また、住宅ローンセンターを10ヵ所設置しており、専門のスタッフが住宅ローンのご相談やお申込みを受け付けております。住宅ローンの今後のご返済に不安をお持ちのお客さまには、ご相談受付専用フリーダイヤルを設置しており、休日でも相談いただける窓口として住宅ローンセンターのうち7ヵ所のセンターでは日曜日も営業しております。

■住宅ローンセンター

(平成22年9月30日現在)

【お問い合わせ】 紀陽住宅ローンセンター(本店南館1階)	073(426)7155
【お問い合わせ】 紀陽二色の浜住宅ローンセンター	072(433)4741
【お問い合わせ】 紀陽東岸和田住宅ローンセンター(東岸和田支店2階)	072(428)0540
【お問い合わせ】 紀陽和泉中央住宅ローンセンター(エコー・いすみ東館1階)	0725(56)0221
紀陽狭山住宅ローンセンター(狭山支店2階)	072(368)7200
【お問い合わせ】 紀陽堺住宅ローンセンター(紀陽堺ビル3階)	072(222)9322
紀陽藤井寺住宅ローンセンター(藤井寺フコク生命ビル5階)	072(937)5601
【お問い合わせ】 紀陽大阪中央住宅ローンセンター(御堂筋センタービル1階)	06(6245)6100
【お問い合わせ】 紀陽堂島住宅ローンセンター(紀陽大阪ビル2階)	06(6343)1251
紀陽大和高田住宅ローンセンター(岡本ビル3階)	0745(53)3541
【お問い合わせ】 印は日曜日も営業(10:00から16:00まで)しております。	

■住宅ローンご返済のご相談受付専用フリーダイヤル

電話番号 0120-760892	(受付時間 平日9:00~19:00 土・日・祝日10:00~16:00) (年末・年始の銀行窓口休業日を除く)
------------------	---

ハローサービスセンター

お客さまのお役に立つ情報を発信するコールセンターです。様々な商品・サービスやキャンペーン、年金相談会などのご案内を行っており、日頃、営業時間中に窓口にお越しいただけないお客さまにも電話を通じてご用件をお伺いしております。

お客さまからのご質問や無担保ローンの電話受付も行っており、各種商品・サービスのご質問からモバイル・インターネットバンキングの操作方法や資料請求など気軽にお問い合わせいただけます。無担保ローンの電話受付につきましては、平日9:00から21:00まで、土・日・祝日は9:00から17:00まで(年末・年始の銀行窓口休業日を除く)受け付けております。

商品・サービスのお問い合わせ	0120(037)389 (9:00~17:00 銀行窓口休業日を除く)
無担保ローンの受付	0120(600)964 (平日9:00~21:00、土・日・祝日 9:00~17:00 年末・年始の銀行窓口休業日を除く)

ATMネットワークの充実

全国のローソンATM及びセブン-イレブン等に設置されているセブン銀行ATMで、紀陽銀行キャッシュカードがご利用でき、全国22,000台以上のコンビニATMネットワークの利用が可能となっております。

■ご利用時間

平日	お引出し 7:00~23:00	お預入れ 7:00~21:00
土・日・祝日	お引出し 9:00~20:00	お預入れ 9:00~20:00

セブン銀行ATM 14,951台
ローソンATM 7,785台 平成22年9月末現在

地域の皆さまとともに ～法人・事業主のお客さまのために～

当社グループでは、経営課題解決に向けたお手伝いや成長支援、また地域のお客さまの利便性向上に向けた地域密着型金融の推進に取り組んでおります。独自のノウハウに加え外部の専門家(弁護士、税理士、M&A専門業者等)や公的機関(国、府県、政府関連機関等)とのネットワークを活用し、地元企業の成長支援や経営課題解決に、強力に取り組む体制を構築しています。

販路拡大支援

商談会やビジネスマッチングの機会を活用し、お取引先の販路拡大を支援しております。

これまでの「堺ものづくり取引拡大商談会」、「自社商品売込み商談会in堺」、「Foodex Japan」、「わかやま産品商談会in和歌山」などの商談会に加えて、今年から「地方銀行フードセレクション」にもお取引先を誘致し販路拡大を支援しております。

その他、インターネットを活用した仕組みも活用し、商材に適した販路拡大の支援を行っております。

代表的な例として、大阪府の「B2Bネットワーク」や全銀協の「e-ビジネスマーケット」などを活用し、商材に最適な販路拡大支援を行っております。



円滑な事業承継をサポート

法人の事業承継は税法や民法の関係で思わぬ障害が発生することがあります。スムーズに事業を後継者に引き継ぐための気づきとその具体的対策をご提案しています。また、株価対策のご提案やM&Aによる事業譲渡にも対応し、お取引先が抱える事業承継問題解決に積極的に対応しております。

気づきのきっかけとして平成22年2月に堺市、同年9月には和歌山市にて外部機関と連携した「事業承継セミナー」を開催しました。



産学連携による域内機能の活用

地域経済の活性化と地場産業振興を目的として国立大学法人和歌山大学、公立大学法人和歌山県立医科大学、公立大学法人大阪府立大学、国立和歌山工業高等専門学校とそれぞれ連携協定を締結しております。

平成22年3月と10月には、お取引先の新規事業への進出サポートのため、和歌山県立医科大学と連携した「異業種交流会」を開催いたしました。

また、産学連携により紀陽銀行が仲介した企業との共同研究も成果を上げております。



人事コンサル、退職金コンサル

「適格退職年金制度」廃止への対応として退職金問題についてお客さまとともに課題を解決してまいりました。

また、人事面では評価や採用、育成など様々な課題があります。企業にとって重要課題の一つである人の問題に外部の専門家とも連携をとりつつ対応できる体制を整えております。



経営改善のサポート

経済環境の低迷が続く中、お客さまとのコミュニケーションをより深めることにより、財務内容の改善や適正な事業運営に向けた経営改善計画の策定についてお手伝いしております。

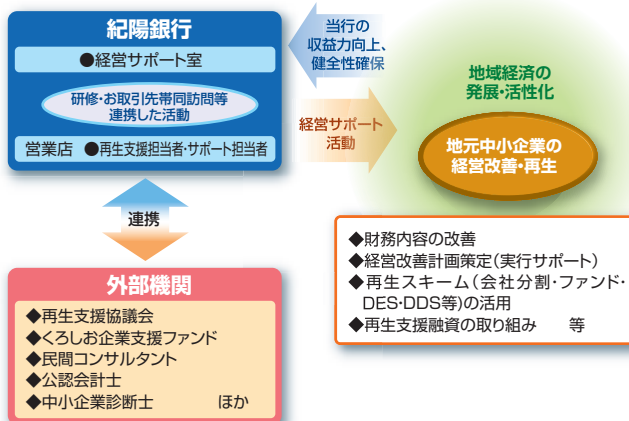
中小企業再生支援協議会、RCC（整理回収機構）などの外部機関や政府系金融機関などとも連携し、紀陽銀行も出資する再生ファンド「くろしお企業支援ファンド」の利用など、お客さまに応じた最適な手法を選びながら、経営改善や抜本的な再生に取り組んでおります。こうした取り組みを通じ、平成22年9月期は17先の債務者区分がランクアップ(※)いたしました。

また、中小企業等金融円滑化に向け「金融の円滑化に関する基本方針」を策定し、体制整備の更なる強化を図っております。

経営サポート室

経営内容の改善に取り組まれているお客さまの改善計画策定や財務内容の改善に向けたお手伝いをするため、経営サポート室を設置しております。お客さまにふさわしい改善方法をご提案できるよう、営業店と一体となって取り組んでおります。

また、平成21年12月4日に施行された、中小企業等金融円滑化法に基づくお客さまからのあらゆるご相談に対応できるよう、同室内に金融円滑化管理担当を設置し、営業店での対応をよりスムーズに行うための体制を整備しております。



※ご融資先を財務内容などにより正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5段階に区分し、経営改善や事業再生などにより上位のランクに引き上げること

公的支援施策の活用

外部機関と積極的に連携することで地域経済の活性化に取り組んでおります。

具体的には和歌山県の公的支援施策制度である「わかやま農商工連携ファンド」、「わかやま中小企業元気ファンド」、「経営革新」などをお取引先に紹介するセミナーを開催し、企業ニーズにあった助成金の活用を支援しております。



産業界と教育界のマッチング

地元企業にとって人材の確保が重要な経営課題にも拘わらず、採用活動は厳しいものとなっています。その要因のひとつとして、地元企業が直接学生の皆さまに自社をPRする機会が少ないため、学生の皆さまにとっては地元企業の情報が不足していることが考えられます。

こうした地元企業と学校側の双方の声をマッチングさせ、地元企業への就職機会の創出と増大につなげることを目的に「企業合同説明会」を開催しております。昨今の就職事情に対応して、学校側からの要請で地元優良企業の採用情報を個別におつなぎするお手伝いも行っています。



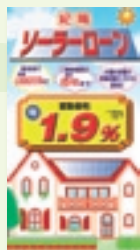
地域・社会貢献活動への取り組み

当社グループでは環境保全や社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。

環境保全・美化運動

◎環境関連金融商品のご提供

紀陽銀行では、ISO認証取得や環境に配慮した設備投資向け融資、ソーラーローン、エコ車両購入向けローンなどの商品を取り扱っております。



◎環境融資への取り組み

紀陽銀行では、三菱東京UFJ銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結し、両行が連携して地域環境の保護ならびに環境事業の支援に積極的に取り組み、地域企業の発展・地域経済の活性化に貢献しております。

また、平成21年3月にはオリックス株式会社と「環境負荷削減支援事業」に関する基本契約を締結し、地元企業の皆さまにESCO事業を推進しております。

紀陽銀行自身でもESCO事業に取り組み、平成23年4月より和歌山市内の事務センター（向芝オフィス）の空調設備を更改いたします。この取り組みによって削減される温室効果ガスは年間128トンとなり、これは紀陽銀行全体の温室効果ガスの約1.8%に相当します。

これからも環境に優しいクリーンな銀行を目指してまいります。

※ESCO事業とは（Energy Service Company）

環境負荷低減のための設備及び省エネ等の役務を提供する事業です。工場やビルの省エネルギーに関する診断をはじめ、改修工事、導入した設備やシステムの保守・管理にいたるまでESCO事業者が一括して管理し、省エネ効果を保証する仕組みです。

◎地域の環境美化活動への参加

紀陽銀行では、創立100周年を機に平成7年6月に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足させ、同時に社団法人「小さな親切」運動本部に加入しました。毎年、同会の活動の一環として、各営業エリアにおける地域の清掃活動や植樹祭への参加、献血への協力などの活動を行っております。

今後も、これまで以上に地元のお客さまのお役に立てるよう積極的に取り組み、地域づくりのお手伝いをしてまいります。



◎「企業の森」事業への参画

紀陽銀行では、環境保護活動への取り組みの一環として、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に参画しています。平成18年4月より、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において活動を開始、役職員がこれまでに約3,000本の植樹を行い、下草刈り活動を通じて森林の保全活動を行っております。



地域事業への参加・各種大会への協賛

紀陽銀行は、「和歌山県綱引選手権大会」や少年野球大会、卓球大会などに協賛しております。

また、「和歌浦ペイマラソン With JAZZ」の運営ボランティア派遣や和歌山市の夏の中心的イベントのひとつである「紀州おどり」への参加など地域の各種イベントへの参加を通じ、地域の皆さまとの交流を深めております。



社会貢献活動への取り組み

◎財団法人 紀陽文化財団

紀陽コンサートの開催

紀陽文化財団設立以来の恒例事業として、毎年クラシック音楽のコンサートを開催しております。迫力あるオーケストラの演奏や一流の演奏者による室内楽コンサートなどを通じ、地域の皆さまに数々のクラシックの名曲を楽しんでいただいております。



美術館・博物館への無料ご招待

和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展をはじめとした展覧会に地域の皆さまをご招待（ハガキによるお申込み、お申込み多数の場合抽選）しております。

また、毎月第4土曜日を「紀陽文化財団の日」とし、和歌山県立近代美術館・博物館への大学生の入場料を無料としています。

地域の金融教育への取り組みや地域文化のPR活動

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、国立大学法人和歌山大学や国立和歌山工業高等専門学校において、紀陽銀行職員が講義を行っております。



また、国立大学法人和歌山大学・株式会社和歌山リビング新聞社と提携して取り組んでいる「大人大学」が平成21年に続き開催されました。各分野で活躍する著名な講師陣を招き、和歌山の魅力ある歴史や文化、郷土色豊かな講座を開講し、地元の方でも新たな和歌山を発見できる機会を提供しております。



地域の安全のために

◎全営業店へのAED設置

地域の皆さまに万一救命措置が必要となった場合に備えて、紀陽銀行では、全営業店のATMコーナーや住宅ローンセンターなど120カ所にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。また、平成22年度入行者220名全員に対して、AEDライセンス取得にむけた講習会を実施いたしました。



◎振り込め詐欺への対応

振り込め詐欺対策として、携帯電話感受装置を和歌山県内12カ所、県外1カ所の店舗外ATMコーナーに設置しております。また、お客さまへのお声かけについても積極的に行っており、地域の皆さまの安全にお役に立てるよう努めております。



紀陽ホールディングス(連結)

第6期中 中間連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	46,551	預金	3,297,140
コールローン及び買入手形	11,251	譲渡性預金	35,564
買入金銭債権	3,858	債券貸借取引受入担保金	1,390
商品有価証券	4,979	借入金	30,641
有価証券	988,921	外国為替	76
貸出金	2,453,306	社債	8,000
外国為替	1,753	その他負債	43,969
その他資産	30,529	退職給付引当金	26
有形固定資産	34,310	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	18,028	睡眠預金払戻損失引当金	498
繰延税金資産	26,003	偶発損失引当金	370
支払承諾見返	16,773	支払承諾	16,773
貸倒引当金	△ 27,243	負債の部合計	3,434,483
		(純資産の部)	
		資本金	58,350
		資本剰余金	64,635
		利益剰余金	39,702
		自己株式	△ 1,235
		株主資本合計	161,452
		その他有価証券評価差額金	11,035
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		評価・換算差額等合計	11,034
		少数株主持分	2,054
		純資産の部合計	174,541
資産の部合計	3,609,024	負債及び純資産の部合計	3,609,024

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第6期中 中間連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	45,067
資金運用収益	30,294
(うち貸出金利息)	(22,960)
(うち有価証券利息配当金)	(7,203)
役務取引等収益	5,399
その他業務収益	8,840
その他経常収益	532
経常費用	38,725
資金調達費用	4,686
(うち預金利息)	(3,960)
役務取引等費用	1,951
その他業務費用	4,434
営業経費	21,802
その他経常費用	5,850
経常利益	6,341
特別利益	3,657
特別損失	1,048
税金等調整前中間純利益	8,951
法人税、住民税及び事業税	360
法人税等調整額	3,114
法人税等合計	3,475
少数株主損益調整前中間純利益	5,475
少数株主利益	56
中間純利益	5,419

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社は7社、持分法適用会社は0社であります。

連結子会社

- ・株式会社紀陽銀行
- ・紀陽リース・キャピタル株式会社
- ・紀陽情報システム株式会社
- ・株式会社紀陽カード
- ・紀陽ビジネスサービス株式会社
- ・株式会社紀陽カードディーシー
- ・阪和信用保証株式会社

役員一覧(株式会社 紀陽ホールディングス)

(平成22年9月30日現在)

取締役社長(代表取締役)	片 山 博 臣	取締役	阪 本 彰 央	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
専務取締役	米 坂 享	取締役(社外取締役)	水 野 八 朗	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	泉 清 映	監査役(常勤)	玉 井 享	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	成 田 幸 夫	監査役(常勤)	樋 口 勝 二		

紀陽銀行(単体)

第201期中 中間貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	46,170	預金	3,301,322
コールローン	11,251	譲渡性預金	40,564
買入金銭債権	3,858	債券貸借取引受入担保金	1,390
商品有価証券	4,979	借入金	29,594
有価証券	981,673	外国為替	76
貸出金	2,459,860	社債	8,000
外国為替	1,753	その他負債	34,454
その他資産	18,123	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	34,441	睡眠預金払戻損失引当金	498
無形固定資産	9,212	偶発損失引当金	370
繰延税金資産	24,217	再評価に係る繰延税金負債	220
支払承諾見返	16,768	支払承諾	16,768
貸倒引当金	△ 23,153	負債の部合計	3,433,293
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	32,357
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	32,097
		利益剰余金	32,357
		利益準備金	1,698
		その他利益剰余金	30,659
		繰越利益剰余金	30,659
		株主資本合計	144,811
		その他有価証券評価差額金	10,727
		繰延ヘッジ損益	△ 0
		土地再評価差額金	324
		評価・換算差額等合計	11,051
		純資産の部合計	155,863
資産の部合計	3,589,157	負債及び純資産の部合計	3,589,157

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第201期中 中間損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	41,549
資金運用収益	30,180
（うち貸出金利息）	(22,864)
（うち有価証券利息配当金）	(7,186)
役務取引等収益	4,323
その他業務収益	6,474
その他経常収益	570
経常費用	34,813
資金調達費用	4,704
（うち預金利息）	(3,964)
役務取引等費用	2,265
その他業務費用	2,555
営業経費	19,971
その他経常費用	5,315
経常利益	6,736
特別利益	4,046
特別損失	1,048
税引前中間純利益	9,734
法人税、住民税及び事業税	30
法人税等調整額	3,215
法人税等合計	3,245
中間純利益	6,489

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧(株式会社 紀陽銀行)

(平成22年9月30日現在)

取締役頭取(代表取締役)	片 山 博 臣	取締役	上 野 隆 司	監査役(常勤)	玉 井 享
専務取締役	米 坂 享	取締役	北 山 隆 一	監査役(常勤)	樋 口 勝 二
常務取締役	泉 清 映	取締役	鈴 木 健次郎	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
常務取締役	松 岡 靖 之	取締役	鈴 木 教 秀	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	森 川 保 彦	取締役	島 慶 司	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	成 田 幸 夫				

また、セブン銀行、ローソンとの提携により、全国のセブンイレブンやローソンに設置されたATMで紀陽銀行のキャッシュカードがご利用いただけます。

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	70	117
大阪府	36	32
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	109	151

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インストアランチ「プラザ イズミヤ和歌山店」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター（10カ所）、ビジネスサポートセンター（4カ所）を開設しております。

紀ノ川

南海和歌山市駅

和歌山市役所支店

本店

和歌山中央支店
(紀陽 お城の前の相談室)

JR和歌山駅

東和歌山支店

和歌山中央支店

国体道路支店

神前支店

西浜 (出)

堀止支店

橋向支店

星屋支店

松ヶ丘支店

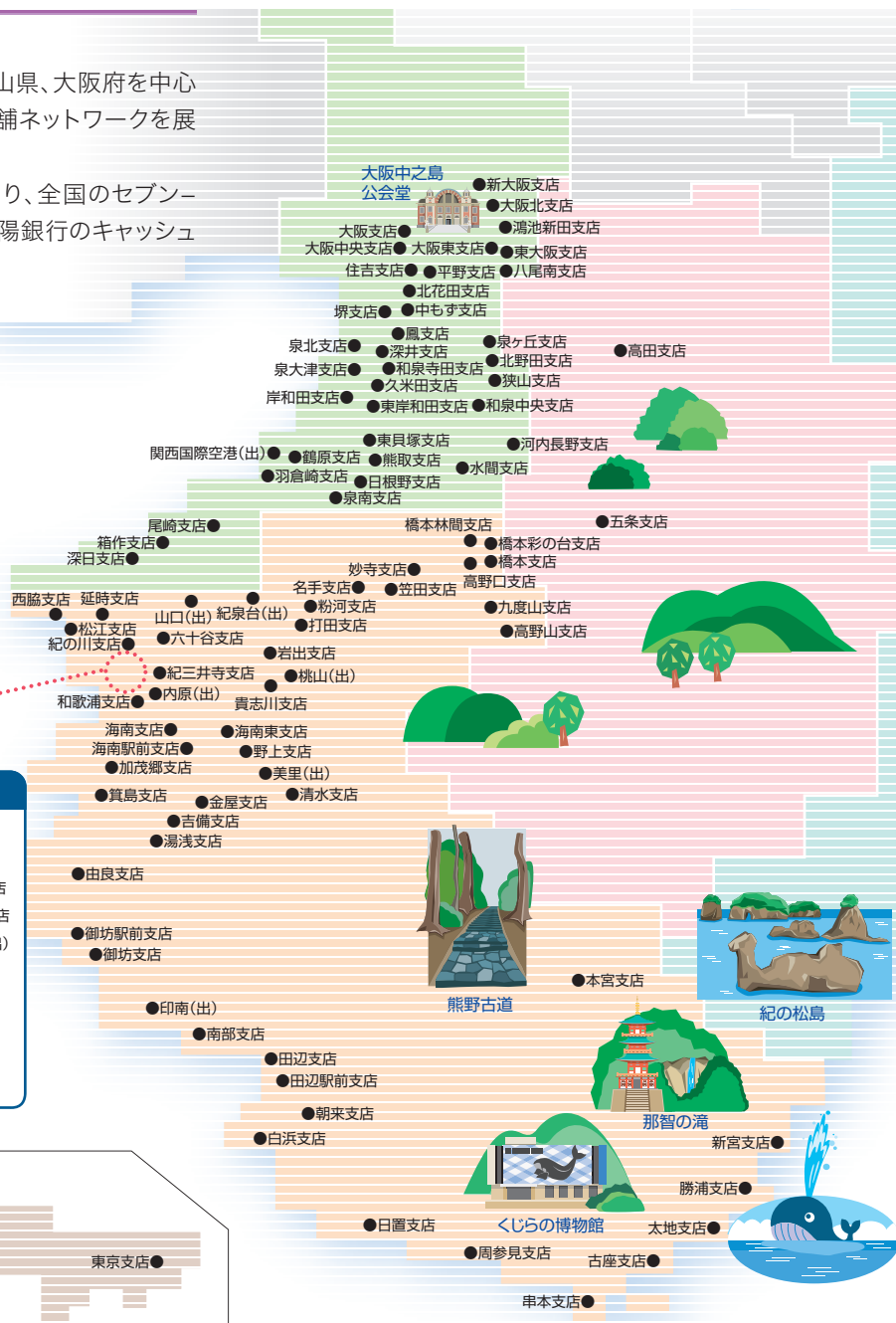
高松中央支店

プラザイズミヤ和歌山 (出)

水道路支店

宮北支店

太田 (出)



■発行済株式総数

普通株式	741,163,840株
第二種優先株式	4,003,500株
第4回第一種優先株式	45,000,000株

■株主総数

普通株式	25,841名
第二種優先株式	508名
第4回第一種優先株式	1名
(株式会社整理回収機構)	

■配当方針

利益配分につきましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

■株主名簿管理人

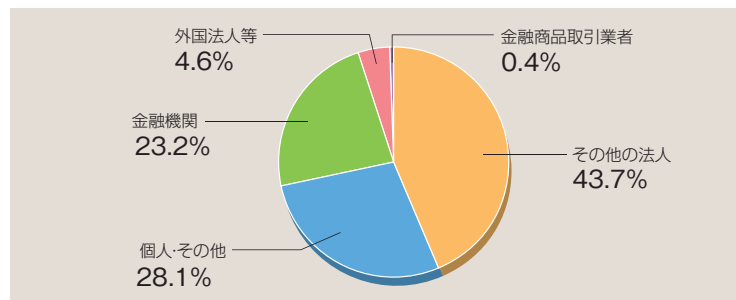
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■株式事務取扱場所

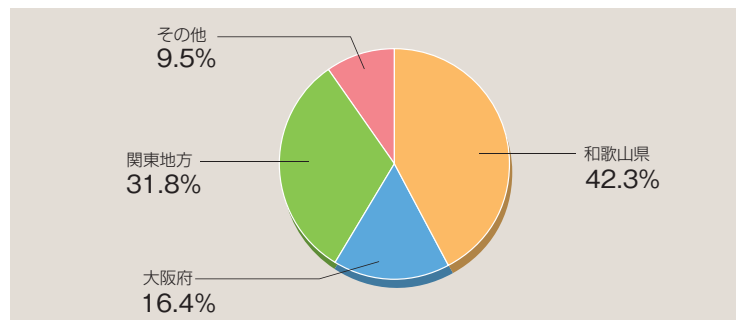
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話無料)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

■所有者別株式分布(平成22年9月末)



■地域別株式分布状況(平成22年9月末)



株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へお届けください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(1,000株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。

(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、当社ホームページより左記株式事務取扱場所のホームページにお入りいただき、検索することができます。

〔紀陽フィナンシャルグループHP <http://www.kyfg.com/>〕



株式会社 紀陽ホールディングス

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kyfg.com/>

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地
<http://www.kiyobank.co.jp/>

平成22年12月発行
株式会社 紀陽ホールディングス
グループ企画部 広報グループ
〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地
TEL.073-426-7133